

学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた
人間性豊かな実践力のあ
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)
体力づくりに励み、健康でたくましい子ども

3年生 科学体験プログラム「ゴムを使ったおもちゃづくり」 5月11日(水)

八幡東区にある児童文化科学館で開催された「科学体験プログラム」に参加しました。まず最初に、ゴムを使ったおもちゃ「危険！取り扱い注意 蜂のお守り(紙に包まれた中身をそっと開けると、仕掛けが動く)」作りに挑戦しました。仕掛け作りは簡単で、どの子どもあつという間に完成させ、楽しく遊ぶことができました。ご家庭でも、持ち帰ったおもちゃで驚かされたのではないのでしょうか。館内では、科学実験の道具に触れたり、実際に動かしてみたりすることができ、どの子ども大喜びでした。その後のプラネタリウムの見学では、真っ暗になった館内で、きれいな夏の星空を見ました。いろいろな星座の紹介や星にまつわる話をしてもらって、星について興味関心を深めることができました。

- ・目を閉じていると、ハチが動く音がしたので怖かったです。私は、先生の真ん前にいたので、飛び出してくるのではないかと思います、すごく心配でした。
- ・友達が勇気を出して袋を開けてくれました。そしたら、ハチの動く音がしたので、本当に動いていると思いました。でも中には、ハチではなくて、今日、私たちが作る「ゴムを使ったおもちゃ」が入っていました。そのゴムの音がハチの羽の音とほとんど同じだったので、ハチが飛んでいるように感じたのでした。「だまされたぁ・・・」と思いました。
- ・それから、面白マジックの仕掛けについて丁寧に説明してくれたので、自分でも作ることができました。

4年生 社会見学 5月12日(木)

小倉北区の日明清掃工場と日明かん・びん資源化センター、南区の井手浦浄水場に行きました。社会科の学習で学んだことと施設での実際のごみ処理の仕方や水をきれいにする過程などを結びつけながら見学しました。



特に、「捨てればごみ、分ければ資源」という施設の方の言葉が心に残った様子でした。普段何気なく出しているごみについて、「地球環境を守る」という視点から考え、分別の意識を高めることができました。

20日(金)には、環境局の方がごみ収集車(パッカー車)を動かしながらごみの収集方法や市民の皆さんに協力していただきたいことなどについて詳しく説明してくださいました。

6, 7月の主な行事予定

6月	2	木	眼科検診 スポーツテスト(17日まで) 「子どもひまわり学習塾」説明会
	3	金	和の膳(5月生まれ)委員会活動
	7	火	耳鼻科検診 ひまわり学習塾開始(毎週火・木)
	8	水	4年 自転車教室
	9	木	5年 社会見学
	10	金	5年 スクール救命士学習 代表委員会
	11	土	土曜日授業 避難訓練(火災) 5, 6年プール掃除
	15	水	学習参観(5校時)学級懇談会 学校評議員会
	16	木	4年環境アクティブラーニング (校外での体験学習)
	17	金	クラブ活動
7月	20	月	プール開き(水泳学習開始)
	22	水	家庭教育学級(PTA)
	24	金	クラブ活動
	29	水	和の膳(6月生まれ)
	1	金	クラブ・委員会活動(反省)
	8	金	4年 天文学習
	14	木	個人懇談会
	15	金	個人懇談会
	19	火	給食終了・1学期末大掃除
	20	水	1学期 終了式
21	木	夏休み(8月31日まで) *夏の教室については、後日お知らせします。	

6年生 考古学教室「温故知新」 5月13日(金)

北九州市内で出土した本物の遺物(土器・石器・木器など)を、実際に見たり触ったりして、昔の人が何に使い、どんな生活をしていたのかを考える学習をしました。また、東朽網校区には遺跡がたくさんあることを地図と遺物を見ながら知ることができました。



- ・おもしろかったし、少し考古学が好きになりました。一生に一度かも知れない体験ができたので、良かったです。
- ・色々な遺物があってびっくりしました。あと、朽網でも遺物が見つかったと初めて知りました。大昔、何も無い中、人々は工夫して物を作ったり生活したりしていることはすごいなあと思いました。
- ・たくさんの遺物を見て、「これは何に使うんだろう?」「どうやって作ったんだろう?」と、疑問に思うことがすごくありました。クイズを通して、いろいろなことを知ることができました。楽しい時間になりました。次からの社会の学習が楽しみです。
- ・最初は歴史にあまり興味がありませんでした。でも、スケッチをして話を聞いて、思ったことを書いているうちにとても楽しくなりました。こうして、昔の人が残した物を見ると、これが元になって今の道具技術があるのかなと思いました。